

市長 雜感

(93)

家屋の一部や田畠を隠し呑み
込んで、『水魔の顔』を映し出
していた。

六・二六梅雨前線豪雨から
ちようど一ヶ月あまり、驚怖

感にねれた。水害後遺症はま
だぬぐい去られはしないが、

日本は、ヨーロッパやアメ
リカ東部の平均化した降雨量

に比べ、世界でも一・二位を
うか。

どうか。地震災害の夏に、
当市は集中豪雨に見舞われて、

もう、十四・五年にもなる
だらうか。地盤災害の夏に、
当市は集中豪雨に見舞われて、

こうした水飢きは、今夏
争う雨の多い国といわれてい
京を始めとした大西洋岸の各

地では、大かんばつで、水道の
断滅水が余儀なくされ、恵み

いたくにもなろうし、これが
いろな気象要素を合わせ持つ
の『雨乞い』は大変なものだ

ているからだろうが、それが
たことを、新聞などから

線通過時などに、まとまって
いるからだろうが、それが
たことを、新聞などから

情報でよく覚えている。